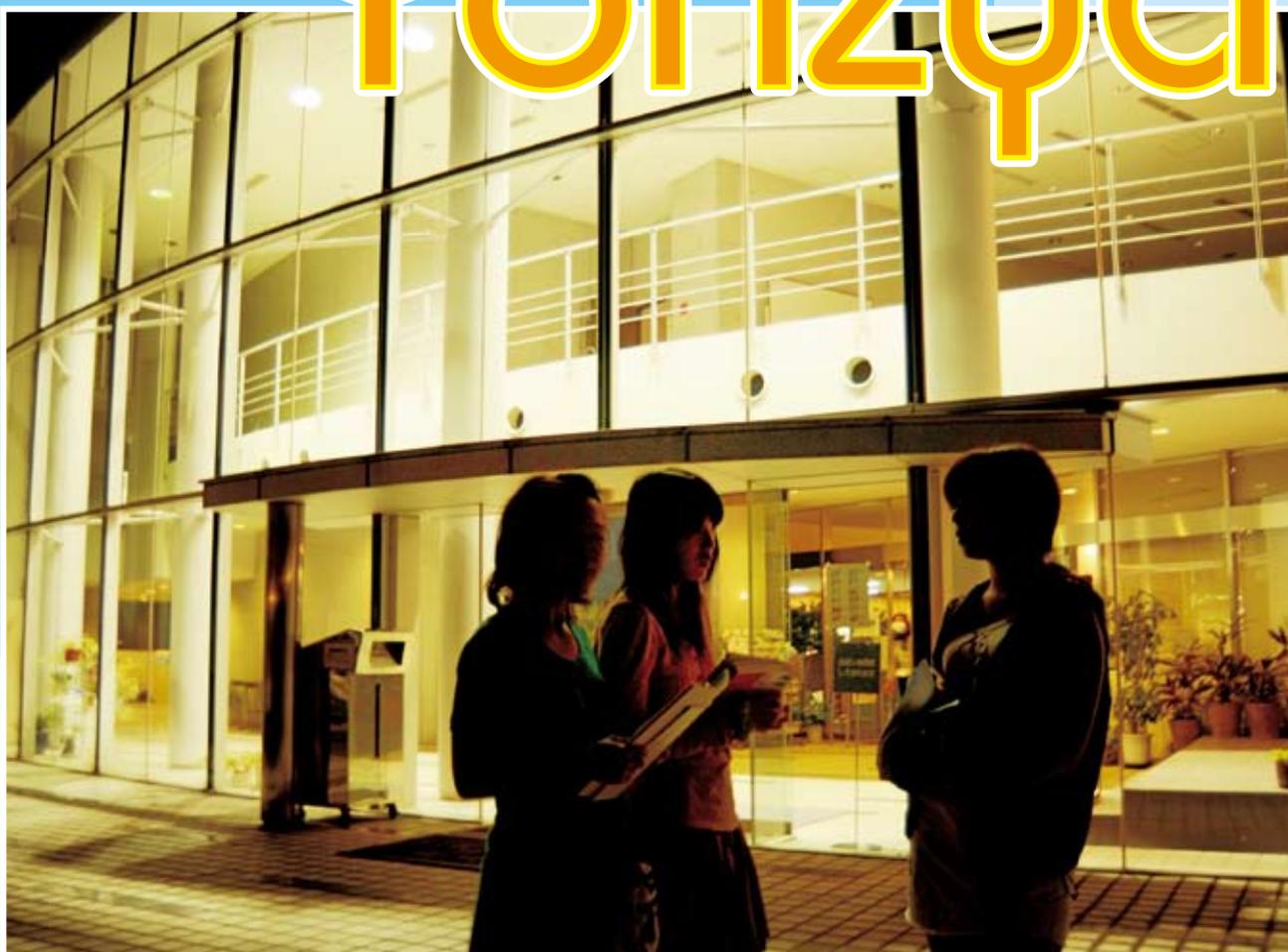


Yonzya



CONTENTS

“新米”館長の図書館探訪	2
看護図書館の土曜日開館	3
目からウロコの一冊	4~5
社会人になってからの本との関わり	6~7
図書館通信、編集後記	8

新米館長の図書館探訪

図書館長 齊藤秀子

山梨県立大学図書館は、開学より「県大図書館」「看護図書館」の2館で運営され、前館長のご尽力により、大学図書館としての運営が軌道に乗りつつあります。研究資料の取り寄せをお願いしたり、図書を開覧したり、これまでも図書館をたびたび訪れていましたが、図書館の仕事を担当し、本学の図書館には利用される学生の、看護職の、一般の利用者の皆さんのための、様々な工夫があることに気がつきました。



パンフレットコーナーです。古いものは引き出しに整理、こんなに充実したパンフレットコーナーが他大学にあるでしょうか。
(看護図書館)



大切な国家試験対策図書コーナー。
(県大図書館)



山梨日日新聞スクラップコーナー、そして、先生方の報告書コーナー、とても見やすくなっています。
(看護図書館)



ひとり暮らしのためのクッキング、勉強法、資格と職業など、入学当初、特に役立つ新入生コーナー。
(県大図書館)



窓からの景色、これも、工夫の一つかもしれません。

実は、このほかにもまだまだ工夫があります。皆さんも図書館を探訪してみませんか。そして、もっと工夫を、とのご意見があればお寄せ下さい。どのようなことでも検討し、できることから取り組んでいきます。また、本学図書館には図書の電子化、機関リポジトリの開設など、数多くの課題もあります。利用される皆様の声で、図書館をより充実したものにできればと考えています。

看護図書館の土曜日開館

平成20年4月に開始した土曜日開館が1年数ヶ月を経過し、今年度10月末現在までの利用者数が6,824人に達しました。この度、土曜日開館についての思いや、利用状況について調査するという目的で、以下の項目について尋ねてみました。

Q1 現在の職業について

Q2 本日、看護図書館へ来館した目的について

Q3 本日の閲覧した本について

Q4 土曜日開館に対する思いについて



石川和紀

- Q1 保健師
Q2 貸出し・返却
新聞雑誌の閲覧
自習
Q3 未回答
Q4 私はこの春、保健師として働き始めました。

私が思っていた以上に、行政の保健師が行う保健活動は幅が広く、難しい課題もたくさんあります。今は毎日、一つ一つのことが新鮮でわからないことがたくさんあります。しかし、看護図書館を利用し、解決することができています。また、土曜日に看護図書館を利用し、じっくりと勉強できるため、平日の利用がゆっくりとできない私にとっては、とてもうれしいです。



小澤智子

- Q1 学生
Q2 貸出し・返却
新聞雑誌の閲覧
Q3 未回答
Q4 私は土曜日開館を主に実習中に利用していました。実習の後に

図書館で調べ物や、勉強をするには時間が足りず、落ち着いて勉強をすることができなかつたのですが、土曜日開館を利用することで、時間に追われずに勉強ができました。実習の振り返りをする事ができました。落ち着いて勉強ができる場があることで、休日が有効に過ごせたと思います。



草塩美里

- Q1 看護師
Q2 貸出し・返却
Q3 『心のふれあう患者接遇』
石井良子 医学書院
『私たちの看護観』
菊池芳子 真興交易
医書出版部

『介護・看護職のための言葉づかいチェックリスト』
有馬良建 医歯薬出版

Q4 私は総合病院に勤務後、昨年から当院へ入職しました。図書館では以前はファーストレベルや看護研究の際に利用させていただきました。今回は倫理の研修を行うにあたり私自身の振り返りや資料作りのために、来館しました。平日の勤務終了後では慌しく本を探さなければなりません、今回は仕事が休みの土曜日であり司書の方に相談しながら、ゆっくりと希望の本を探ることができました。今後も土曜日に利用していきたいと思います。



峯松昭子

- Q1 大学院生
Q2 貸出し・返却
Q3 未回答
Q4 私は大学院で修士論文に取り組んでいます。修士論文は、最新の知見に関する論文など

幅広く文献検索を行うことが必要となるため、多くの時間を費やすこととなります。司書の方々には、いつも文献検索に困っている時など、笑顔で声をかけてくださり相談に応じてくださいます。昨年度から土曜日の開館になったことや、本年度からGeNiiの中にJAIROが導入され、より多くの学術リポジトリが見られるようになり、必要な文献をすぐに読むことができ、効率よく学習ができる図書館だと感じています。

(敬称略)



『冷たい校舎の時は止まる』上・下

辻村深月著
講談社

寝る間を惜しんで読め、読了後もしばらくは登場人物達のことを頭から離れない。そんな本に出会えるとすごく嬉しい。私にとって辻村深月さんのデビュー作であるこの作品はその1つだ。

大学受験を控えた高3の雪の降る日、クラス委員の8名が無人の校舎の中に閉じ込められる。そして彼ら全員が、学園祭で自殺したクラスメイトの名前や顔を思い出せないことに気づく。

登場人物達の心情が丁寧に描かれていて、その1人ひとりに共感できるものがある。そしてラストの展開はまさに「目からウロコ」だった。ミステリーが好きな人に特にお勧めしたい。

総合政策学科 3年 清水美穂



『イニシエーション・ラブ』

乾くるみ著
原書房

合コンがきっかけで始まる、成岡繭子とたっくんの恋を描いた「side-A」、たっくんの転勤から、次第に破綻していく遠距離恋愛を描いた「side-B」。これら二部から構成された、一般的な恋愛小説…と思いきや、ラストではまったく予想もしなかった展開に。平凡な作品の中にミステリーが組み込まれた、騙し絵の様な仕掛けに仰天させられます。単なる恋愛小説ではない、必ずもう一度読み返したくなる作品です。

国際コミュニケーション学科 2年 上田聖美



『英雄の書』上・下

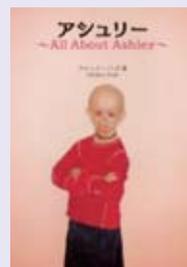
宮部みゆき著
毎日新聞社

『英雄の書』は、現代の社会問題と空想の世界がうまく融合した、宮部みゆきのファンタジー大作です。

物語は、優秀な兄が起こした同級生殺傷事件から始まります。失踪した兄の部屋で、一冊の本アジュと出会った主人公の友理子は、事件の経緯を知りました。そこには、“英雄”に魅入られてしまった人間や社会の闇があったのです。兄と真相を探するため、そして英雄を封印するために立ち上がった少女の運命とは？

真相を追っていく時の緊張感や物語の世界観は、「さすが宮部さん」という感じ。ファンタジー好きの方にお勧めしたい作品です。

国際コミュニケーション学科 3年 小澤麻衣



『アシュリー ～All About Ashley～』

アシュリー・ヘギ著
扶桑社

今回私が紹介する本は、アシュリー・ヘギ著の『アシュリー～All About Ashley～』です。この本は、治療法のない難病により、10代という若さで死と直面する彼女が、それでも笑顔で幸せに生きる姿を、自身のイラストや写真・短い文章で綴ったものです。

私はこの本を読んで、アシュリーから「今を精一杯、自分らしく生きることの喜び」を教わりました。この本と出会って約4年が経ちますが、今でもこの本はいつも私の机の上であり、大切にしています。

みなさんも是非一度、手にとってみてください。きっと、アシュリーがあなたにも語りかけてくれるはずです。

福祉コミュニティ学科 3年 齊藤みなみ

ココの一冊!



『がんばりすぎてしまう、あなたへ』

宇佐美百合子著
サンクチュアリ出版

この本を一言でいうと、「自分への栄養」を与えてくれる本です。ストレス社会に生きる現代人にはもってこいの本だと思います。ものの捉え方、考え方は人それぞれではありますが、自分は自分でいいのだ!というも思わせてくれます。私が一番印象的であった言葉は「変形しない幸せ」という言葉です。

誰かに評価されるために努力して手に入れた幸せは、人の評価が変われば変形してしまいます。しかし、楽しんで創意工夫して手に入れた幸せは、自分が主体なので何があっても変形しないという意味です。この本は今まで後回しにしていた自分の心に栄養を与えてくれるような、とても優しい本です。

福祉コミュニティ学科 4年 中村 愛



『夏空に、きみと見た夢』

飯田雪子著
ヴィレッジブックスedge

主人公は美人だけれど気の強い、女子高生の悠里。突然の告白の相手は一度も会ったことのない、そしてこれからも二度と会えないだろうという人だった。この告白から悠里の生活や感情が少しずつ変わっていく。

飯田雪子さんの作品は独特の世界観で広がっていく物語ばかりです。少しファンタジックなところもありながらも、私たちが共感できるところが数多く出てきて読みやすいので、恋愛小説で新しいものに挑戦したくなったら、ぜひ読んでみてください。

人間形成学科 2年 貞木結三子



『誕生死』

流産・死産・新生児死で
子をなくした親の会著
三省堂書店

皆さんは、「生命の誕生」をどのように感じていますか?「喜びや感動に溢れた瞬間」、そんなふうに思っている方が少なくないのではないのでしょうか。しかし、生まれてくる命は必ずしも産声を上げるとは限らず、母親に抱っこされることもなく天国へ逝ってしまう命もあるのです。

本書は、出産前後にわが子を亡くした体験を、十三名の父母がありのままに綴ったものです。「誕生死」とは、流産・死産・新生児死などを表した言葉であり、遺族の思いが込められています。

何度読んでも涙が溢れ、命の尊さと父母のわが子に対する一途な思いを感じ看護の役割を考えさせられる一冊です。是非一読してみてください。

看護学科 4年 安西真弓



『犠牲 サクリファイス わが息子・脳死の11日』

柳田邦男著
文藝春秋(文庫)

私は、社会とのギャップを感じるときに柳田邦男氏の本を読むことで埋めようとしています。そんな柳田氏の初めて読んだ本は、今回紹介する『犠牲 わが息子・脳死の11日』でした。この本は、柳田氏と家族(息子)との苦悩の日々とある決断をつづった本です。この本を読むにつれ、柳田氏が私に直接、語りかけてくるような感じがしました。現在の臓器移植法や脳死は、いろいろな議論がなされています。テレビや新聞で取り上げられる内容は、私には身近な問題として感じれずにいましたが、この本を読むことで真剣に考えることができました。また、生と死について考え抜いた11日間には、心を揺さぶられました。今後、医療現場で働く人達には一読する価値がある本だと思います。

大学院看護学研究科 1年 脇本雄文

社会人になっ



社会人としての 本との付き合い

国際政策学部総合政策学科
第1期卒業生 篠原里奈

学生の頃は、部屋でゆっくり読書に集中することが大好きでした。しかし今年から社会人となり、そんな風に読書をする時間がとれなくなっていました。

しかし、本の素敵な点はいつでも、どんな時でも、どんな場所でも向き合えるという点だと気付きました。通勤電車の中で、会社のお昼休みの一時間で、友人を待つカフェで手に取る本は、急いていた心を落ち着かせてくれたり、笑いをくれたり、ヒントをくれたりします。

ふと無心になれる瞬間があるからこそ、次の瞬間からまた頑張ろうと思える自分がいました。本は私の社会人生活の友人です。



社会人になって新しい読書習慣 -「継続は力なり」の気持ちでこつこつ

国際政策学部総合政策学科
第1期卒業生 渡邊恵祐

大学時代には授業と授業の開いているとき、よく図書館で時間つぶしをしていた。そのころはそのときに流行っていた小説などを読んでいたが、社会人になって読む本の内容が変わった。

私は営業職ということもあり、自己の内面を高める内容の本や、相手の心理を読み取る本、過去に成功した人物が書いた本などを中心に読むようになった。また、関わるお客様の年齢層が高いこともあり、経済の情報誌なども定期的に読んでいます。

学生時代には好きなときに好きなだけ本が読めたが、社会人になって読書をする時間がずいぶんと少なくなった。本を読むことは新たな知識や多くの言葉に出会ったり、様々な考え方に触れたりできる大切な時間だと思い、出勤する前の20分と寝る前の20分を読書する時間にあてている。

読書の量と時間は少なくなったが、少しずつでも毎日だとそれなりに蓄積ができる。この習慣を継続することで、自分を高める力にしていきたい。



本を読む時間のたいせつさ

国際政策学部
国際コミュニケーション学科
第1期卒業生 遠藤可奈

私は、仕事が終わって帰宅してから夕食の時間までは、本を読んで過ごすことにしています。疲れて帰って本を読むなんて余計に疲れそうだと思う方もいるかもしれませんが、本の世界に集中することで、一日の疲れも忘れることが出来ます。

また、一日の大半を仕事が占めるようになり、自分の自由になる時間は減ったものの、毎日決まった時間に本を読むことが、生活のリズムを取りやすくしているようにも感じます。どんな本を読むかということも重要ですが、私は、本を読む時間そのものを、これからもたいせつにしていきたいと思っています。



卒業と本

国際政策学部
国際コミュニケーション学科
第1期卒業生 森浦 舞

卒業し、非常勤講師として働く今、自由な時間が減ったにも関わらず、私と図書の付き合いは学生の頃よりも親密です。

今、学校で働ける事を幸せに思うと同時に、初めて経験する類のストレスも味わい、これが社会人なのだと感じています。そんな中、現実の忙しさや緊張感から離れて「第三者」になることができる世界を本によって持つことが、客観的に自分と向き合ったり、本来の自分を確認したりする時間になっています。今の私にとって本は、学校のことから離れられない心を一旦連れ出し、私の心に良い風を送ってくれる存在なのです。

てからの本との関わり

母校を離れて社会に出ると、「本」との関係はどうなるのでしょうか？人間福祉学部と国際政策学部では、平成21年3月に第1期生が卒業して社会人の仲間入りをしました。そこで、今回は、さまざまな分野で社会人として活躍する同窓生からメッセージを集めてみました。



背中を押してくれた本

人間福祉学部
福祉コミュニティ学科
第1期卒業生 八巻沙江

学生時代福祉を学んだ私が就いた仕事は、というところ…料理教室の講師です。

卒業後早5ヶ月が過ぎ、思い描いていた生活とのギャップに苦しみ、自分や他者や会社を責めてしまうことも多々あります。そんな時たまたま書店でこの本（『魂を抱きしめて一幸せの遠回り、していませんか』）と出会いました。著者の実体験が描かれており、悲鳴を上げていた私の心に言葉たちがゆっくりと入り込んできました。その言葉ひとつひとつが「一緒に頑張ろうか」と背中を押してくれているようでした。

本人は、後列右から2人目で、一段低くなっている女性です。



名言や格言から学ぶこと

人間福祉学部
福祉コミュニティ学科
第1期卒業生 前田啓介

私が就職後よく読んでいるのは、著名人の名言・格言集です。ソニー元副社長の大曾根幸三氏の名言集（角川SSC新書）など、特に企業で

活躍した人のものを好んで読みます。名言や格言には、その人の考え方だけでなく、人生や生き様が反映しています。特に企業で活躍した方の名言や格言は、現代の社会に必要とされる人物像を示しています。私は著名人の名言や格言を、今の仕事にフィードバックし、仕事に対する姿勢や考え方を前向きにするよう活用しています。



限られた時間の中で

人間福祉学部
人間形成学科
第1期卒業生 金子茉以

私は今、知的障害児の入所施設で働いています。福祉の専門職として現場に出ており、学生時代に勉強したことが土台になっている

ことはもちろんですが、それだけでは到底知識が足りません。自分の時間は限られており学生時代より断然少ないですが、限られた時間の中で図書館へ行き、仕事関係の本を読んで過ごすことが多くなりました。どんな本でも、本の世界にいる時はそれに集中できます。現実から少し離れて自分を見直すこともできます。私の仕事疲れをリフレッシュする方法の一つとして読書をしています。



知識と感動

同窓生
幼児教育科
第30期生 五味さやか

希望の職に就いてからは、日々の保育を充実させるため造形表現や手遊びの本、保育

専門誌などを主に読んでいます。近年は特別支援などに関する書籍を読んで認識を深め、支援の仕方を学び、役立てる機会も多くなっています。でも、心が疲れたらファンタジーや小説、体が疲れたら絵本に癒されることも。知識や感動を得たり、様々な出来事を疑似体験させてくれる本は、自分が「井の中の蛙」にならないためのかけがえのない存在です。

ここでは、各図書館でみなさんにお知らせしたい図書館のコーナーや資料のほか、図書館で起きた出来事などを紹介します。



展示コーナー

県立大学図書館

皆さんは最近どんな本を読みましたか？大学図書館は研究に役立てるための資料をたくさん所蔵しているところですが、話題の小説や、芥川賞をはじめとする文学賞の受賞作、料理や手芸などの実用書も購入しています。勉強のための図書館利用はもちろんですが、ちょっと息抜きをしたり、読書を楽しんだりするためにも図書館に立ち寄ってみてください。

最近の図書館のイベントをご紹介します。1階のロビーでは現在、映像化された作品の原作を展示中です。話題の映画やドラマの原作の世界は、映像とはまた違ったおもしろさに満ちているかもしれません。また、おなじくロビーにおいて、「県大PHOTO展」を開催中。利用者の皆さんから写真を募集し、展示しています。キャンパスライフのひとつま、お気に入りの場所、コレクション、大好きな物等々、他の人にもみてもらいたい！というベストショットをぜひお寄せください。

Ilida



蔵書点検の作業風景

県立大学看護図書館

電子ジャーナルの利用ができます

今までプリント版で購入していた洋雑誌12タイトルが、電子ジャーナルで見られるようになりました。それに伴い、プリント版は2009年1月から取りやめています。今年度は、2005年以降最新号までの論文が閲覧できます。12タイトル以外にも、サブジェクト・コレクション82タイトルと、一定期間だけ見ることのできるものがあります。池田・飯田両キャンパスの図書館内のパソコン、及び学内のLANにつなが

っているパソコンから見るすることができます。利用方法の講習を希望する方は、申し出てください。日程を調節して講習会を開きたいと思います。

ルポルタージュと絵本の場所が変わりました

ルポルタージュは東側窓際の奥まった書架から、金丸文庫近くに移動しました。また、絵本と紙芝居専用の書架を設置しました。ルポルタージュは、これからも闘病記などを充実させていく予定です。

貸出しのできる参考図書があります

参考図書は今まで貸出しができませんでしたが、版が古くなった参考図書の一部を貸出しできるようにしました。医学や看護学の辞典、また、薬の本など、どうぞご利用ください。

Ikeda

編集後記

多くの人が協力してくれました。ありがとうございました。(タ)
社会人となった卒業生の成長ぶりに感激しました。(ヨ)
第5号ができました。YONZYAを末永くごひいきに！(カ)
土曜日でもぜひ看護図書館に来てください。(ミ)
図書館はこれからも学生や地域のためにがんばります。(モ)
学生たちの関心に刺激されて、目からウロコが落ちました。(ヒ)
本から広がる輪に感動しています。(ス)

Yonzya (よんじゃー) Vol.5 2009年12月1日発行

発行

山梨県立大学図書館
甲府市飯田5-11-1 TEL: 055-224-5340
E-mail: lib@yamanashi-ken.ac.jp

山梨県立大学看護図書館
甲府市池田1-6-1 TEL: 055-253-9429
E-mail: toshokan@yamanashi-ken.ac.jp